

|        |   |
|--------|---|
| 研究課題番号 | 1-2202                                  |
| 研究課題名  | アジア途上国における気候中立社会の実現に向けたロードマップの定量化に関する研究 |
| 研究実施期間 | 令和4年度～令和6年度                             |
| 研究機関名  | 国立研究開発法人国立環境研究所                         |
| 研究代表者名 | 増井 利彦                                   |

## 1. 委員の指摘及び提言概要

アジア太平洋統合モデルをもとにした目的に応じた開発モデルをアジア途上国に示し、それを実施し、気候中立社会を目指す課題であり、各国との連携も広がっている点を評価する。モデルの精緻化を図られているが、政策への貢献などを目指すのであれば、これまでのモデルとは異なる質的面で工夫が必要だと思う。再エネ推進は当たり前であり、そのボトルネックは何かという点の更なる追求が必要ではないか。また、構造調整による痛みへの対策も今後の課題になってくると思われる。国際的な共同研究の実施や国際ワークショップの開催などは評価できるが、モデルの改善、個別モデルと統合モデルの統合などにおける課題がどのように整理されているのかがわかりにくい。この点は最終的に各国で共有できるマニュアルの作成に深く関わっていると推察されるので、その点を明確にされることが望まれる。誌上発表や学会発表があることから成果公表はなされていると判断する。

## 2. 採点結果

評価ランク：A